HONDA

# News Release

2026 年 11 月 20 日

## 新型 SUV「AVANCIER」を世界初公開
## ～次世代ハイブリッドシステム Honda Hybrid や新たな H マークを採用～

Honda は本日、新型 SUV「AVANCIER（アヴァンシア）」を世界初公開しました。新たな H マークをハイブリッドモデルとして初めて採用した AVANCIER は、新開発のプラットフォームや次世代ハイブリッドシステム「Honda Hybrid」を初めて搭載した、Honda のハイブリッドの進化を体現したモデルです。

オンラインで実施したワールドプレミアでは、AVANCIER のエクステリア・インテリアデザインをお披露目するとともに、Honda Hybrid の技術概要について発表しました。



AVANCIER は、「Grand-Journey（グランドジャーニー）」をグランドコンセプトに、上質な移動やおもてなしと、それらを体感いただける丁寧な造りを追求し、大切な人との“ココロを満たす旅”を提供することを目指した 3 列 SUV モデルです。日本やタイ、中国など、アジアを中心に順次発売を予定しています。

**【エクステリアデザイン】**

「Grand-Journey」の世界観を表現する、先進感とスポーティーさを兼ね備えたエクステリアデザインとしました。シンプルで洗練された面構成の中に、ロングドライブしたくなるような芯の通った骨格と、SUV らしくラギッドさを匂わせるテイストを採り入れ、今までにない、見る人に驚きを与えるような新しい佇まいを追求しました。

フロントは、薄型のマルチファンクションライトと力強さを感じさせるグリルを組み合わせ、シャープかつソリッドな表情を演出。サイドは、水平基調の伸びやかな骨格と、凹凸を抑えたシンプルな面構成により、ロングドライブでのゆとりある走りを予感させるスタイリングとしました。リアは、絞り込まれた面と直線・直角を基調としたリアコンビネーションランプによってフェンダーの張り出しを際立たせ、スポーティーなスタンスを表現しています。

さらに、フラッシュアウターハンドルやワイパー格納式の薄型テールゲートスポイラーなど、機能部品をボディーに溶け込ませるノイズレスなデザインを採用することで、AVANCIER ならではの先進的でクリーンな外観を追求しました。





**【インテリアデザイン】**

インテリアも「Grand-Journey」をコンセプトに、「丁寧な造りこみ」「上質な移動」「おもてなし空間」をキーワードとして、乗る人すべてが快適に過ごせる、先進的で上質な室内空間を目指しました。

1 列目は、スイッチレスでシンプルなインストルメントパネルにより、空間の広がりを感じられるすっきりとしたデザインとしました。15.4 インチの大型センターインフォメーションディスプレーに各種機能を集約するとともに、コラムシフターを採用することで、センターコンソールからシフト操作部をなくし、ゆとりある空間を創出しています。

2 列目は、リムジンのようにくつろげる上質なおもてなし空間を目指し、ドアライニングを前後方向へ伸びやかにデザインするとともに、左右の席それぞれに大型のアームレストを配置し、乗員一人ひとりがゆったりと過ごせる空間としました。さらに、後席まで大きく開口するパノラマルーフを採用し、空が広がる開放感のある室内空間を実現しています。

3 列目は、居住性に配慮するとともに、ステップの形状などを工夫することで、乗り降りのしやすさを高めました。

さらに、上質な造形や素材を用いて、細部まで丁寧に造り込むとともに、室内を彩る照明による空間演出を取り入れることで、移動時間そのものを心地よく過ごせるインテリアを追求しました。





**【室内空間】**

すべての乗員が長距離の移動でも快適に過ごせる室内空間を追求しました。フロントシートには、人間工学に基づき身体への負担や疲労の低減を図るリラクゼーションシートを採用。2 列目には、シートヒーターやベンチレーション、大型ヘッドレストなどを備え、乗員それぞれがゆったりとくつろげる空間としました。

また、前後左右に高さを加えた三次元的な立体音響を構成する「Dolby Atmos®（ドルビーアトモス）」に対応した BOSE プレミアムサウンドシステムを採用。12 個のスピーカーを包括的に制御することで、すべての乗員に包み込まれるような没入感のある 3D サウンド体験を提供します。

そして、エアコン等の操作ができる音声認識機能に加え、スマートフォンから駐車中の車内の状況を確認できる「リモートインキャビンビュー」と、車両周辺の状況を確認できる「リモートサラウンドビュー」を今後採用予定。こうしたお客様一人ひとりに寄り添うクルマで過ごす体験価値を「MyCabin（マイキャビン）」という名称で展開します。

**【Honda Hybrid と新開発プラットフォーム】**

AVANCIER に初搭載となる「Honda Hybrid」は、Honda 独自の 2 モーターハイブリッドシステムをさらに進化させた次世代ハイブリッドシステムです。エンジンの高効率領域拡大に加え、ドライブユニットの高効率化・小型軽量化や、制御技術の進化などにより、「優れた燃費性能」と「五感に響く操る喜び」の両立を実現しました。

AVANCIER 初採用の新開発プラットフォームは、ボディーのしなりを活用してタイヤへの荷重をコントロールし、接地力を向上させる「新操安剛性マネジメント」により、ボディー剛性の最適化と軽量化を図り、高い操縦安定性と軽快で気持ちのよい走りを実現しました。さらに、エンジンルームやリア下部などを共通化しながら、リアキャビンなどは車種ごとに作り分けるモジュラーアーキテクチャーを採用。車種間の共用率を高めることで、個性的で多様なモデルの効率的な開発・生産を可能とします。

さらに、独自の統合制御技術「Motion Management System（モーションマネジメントシステム）」を採用。ロボティクス技術で培った高精度な状態推定と姿勢制御技術を応用し、ブレーキや駆動力などを統合的に制御することで、さまざまな走行シーンで車両の挙動を安定させ、ドライバーの意のままのコントロールを支援します。

前輪と後輪をそれぞれ独立したモーターで駆動・制御する電動四輪駆動システム「DualPower eAWD（デュアルパワーイーエーダブルディー）」を Honda として初採用。前後のモーターによる力強い発進加速と、走行状況に応じた緻密な駆動力配分により、高い走行安定性を実現。また、「PRELUDE」や「CIVIC e:HEV RS」でご好評をいただいている「Honda S+ Shift（エスプラスシフト）」も採用しました。

これらの技術により、Honda ならではの五感に響く上質・爽快な走りと、さらに安心で意のままの走りを目指します。Honda では、こうしたクルマを自ら運転する体験価値を「MyMotion（マイモーション）」の名称で展開します。

また、AVANCIER は OTA（Over The Air）によるソフトウェアアップデートに対応しており、車両購入後もお客様の利便性を高める機能を追加していく予定です

Honda は、グローバルで拡大するハイブリッド車の需要に迅速に対応するため、ハイブリッド領域へのリソースの再配分を進めており、AVANCIER を皮切りに「Honda Hybrid」搭載モデルを 2029 年度までにグローバルで 15 車種投入する予定です。

Honda Hybrid｜新型 AVANCIER ワールドプレミア - YouTube